

解 答 速 報

杏林大学 一般選抜

数学

I

アイ：④② ウエオ：①①② カ：① キ：③ ク：⑤ ケコサシス：⑧⑤③①①
セソ：④② タ：① チツテ：①⑧③ トナ：①② ニヌ：②⑥

II

アイウ：①④⑤ エオ：②⑤ カキ：④③ クケ：②③
コサ：②③ シス：④③ セ：② ソタ：④③ チ：①

III

アイウ：⑥②⑧ エオ：①② カキ：①② クケ：①② コサ：③② シ：⑥ スセ：①①
ソ：⑥ タ：② チ：⑥ ツ：⑤ テト：①② ナ：① ニ：① ヌ：④ ネノ：①②

～講評～

2024年度も例年通り非常に時間制限が厳しいセットであった。今年も選択肢の文章や数式から正しいものを選ぶという形式の出題もなされた。全般を通して図形感覚を問われるセットであったが、この傾向も例年通りであろう。

[I]途中の△ORSの最大化は、OMの関数として面積を評価すれば良い。後半は見慣れないベクトルを用いた不等式評価に戸惑った受験生も多かったかもしれない。与えられた条件を落ち着いて適用すれば単なる計算であった。このセットはほぼ完答したいところ。

[II]は定番の数III微分積分の問題だったが、やや数値が汚く、計算に苦勞した受験生もいたかもしれない。この程度の計算量に対する耐性はつけておきたい。

[III]は複素数平面の点列に関する問題であった。昨年度までより試験時間が伸びたとは言え、例年通りボリュームのある大問{III]であった。特に後半は見慣れない設定であり、手を出しにくかったかもしれない。

全体的には[I]をほぼ押さえ、[II]を8割方、[III]を半分程度、全体で7割程度に手を出せていられればまずまずではないだろうか。以上を踏まえて、ボーダーは6割強としたい。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校</p> <p>☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校</p> <p>☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校</p> <p>☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町校</p> <p>TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>ビッグバン京都校</p> <p>TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p>医特塾 阿佐谷本校</p> <p>TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>